

# インフラの 町医者

全9回の2

をめぐって

第8回建設トップランナーフォーラムより

来賓あいさつでは、林芳正農林水産大臣が全国各地の元気なトップランナーを激励したほか、急な公務のため出席できなくなった太田昭宏国土交通大臣に代わり、国土交通省の深澤淳志大臣官房技術審議官が太田

国交相の自筆メッセージを代読した。

◇ ◇

## 経営感覚磨き6次産業化

農林水産業については、「攻めの農林水産業、6次産業化を進めている。必要

林農水相



林芳正農林水産大臣は、地域の基盤産業としての建設業、農林水産業について言及。「建設業と農林水産業は切っても切り離せない関係にある。かつて、農林水産業は就業人口の5割程度を占めていたが、時代の流れにより、その多くのかたがたを建設業が吸収してきた。建設業と農林水産業は緊密なつながりがあり、かつ地域と密着している」と述べ、それぞれが地域で果たしてきた役割の大きさ、重要度の高さを強調した。

なのは「経営する」という感覚。コストをミニマイズして、どうマーケティングして売っていくかを考えなければならぬ」とした。その上で、「決して難しく考える必要はない。それぞれの現場が持つ経営力を農林水産業に持ち込み、いろいろな6次産業化が

進んでいくことを願う」と述べた。

また、女性参画による成功事例が多いとのデータを示し、「女性の力を活用して全国で元気のある展開をしてもらいたい」とトップランナーたちによる今後の取り組みに期待を寄せた。

最後に、金融緩和政策、財政出動に次ぐアベノミクスの三本目の矢に触れ、「6月14日に決めた成長戦略は、見取り図、設計図。民間の皆さんがやってみようと思えるかが鍵となる」との考えを示した。

国土交通省の深澤淳志大臣官房技術審議官は、急な公務のため欠席した太田

昭宏国交相の次のような自筆メッセージを代読した。

「首都直下地震、南海トラフ巨大地震が迫っている。そして、高度経済成長時代に造られた道路、

## わが地域はわれらが守る

と名付けて取り組んでいく」

「近年のインフラ投資への減少や、若年入職者の減少など、各地域で建設業に携わるかたがたは大変苦労されていると思うが、今こ

橋などのインフラが経年劣化し対応が急務である。防災・減災、老朽化対策、メンテナンス、耐震化などが極めて重要であり、私はこ

としを「メンテナンス元年」として



深澤技術審議官

そ頑張ってほしいとの思いでいっぱいだ」

「『インフラの町医者をめざして』のテーマ通り、地域の守り手は町医者である地域の建設業の皆さんである。わがまちはわれわれが守り抜くとの新しい役割が始まるのがまさにここである」と確信している。「地方建設記者の会」取材班